

■ びわこ学院大学 教育福祉学部 ライフデザイン学科 児童学コース

ライフデザイン学科児童学コース ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)

| | |
|----------|---|
| 知識・技能 | ①幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 |
| 思考・判断・表現 | ②幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 ③教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 |
| 関心・意欲・態度 | ④自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 ⑤専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力を持ち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 |

ライフデザイン学科児童学コース カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成方針)

建学の精神、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を達成するために、「教養教育科目」「専門教育科目」で教育課程を編成する。授業科目は、講義、演習、実習・実技等を適切に組み合わせて開講する。

1. 教養教育科目は学科共通であり、「①基礎」「②健康」「③大学入門」「④ユニバーサル」「⑤留学生」に区分して授業を開講する。
 - ①基礎…基礎教養の獲得
 - ②健康…健康の基礎づくりへの理解促進
 - ③大学入門…短期大学における学びの基本の習得、社会で活躍する際に基盤となる社会性及び自立性の涵養
 - ④ユニバーサル…(外国語)「読む・書く・話す・聞く」の4技能の習得(パソコン)基本的な情報処理技術の習得
 - ⑤留学生…基本的な日本語会話の習得、日本事情の理解(留学生限定科目)
2. 専門教育科目に「⑥学科コア」科目を設け、必修科目を開講する。
良好な人間関係構築を目的に、コミュニケーション技術の基礎を身に付けるため、1年次に「人間関係とコミュニケーション」を履修する。
自ら発見した課題を論理的に分析し、考えを文章で表し、プレゼンテーションやディスカッションができる力を身に付けるため、1年次に「ライフデザイン基礎」2年次に「ライフデザイン研究」を履修する。
3. 幼稚園教諭、保育士を目指す授業科目を専門教育科目の「⑦児童学」に区分して授業を開講する。
 - ⑦児童学… 乳児期、幼児期の教育、保育、福祉に関する実践的指導力を身に付ける。教育者・保育者を目指す学びを積み上げ、子どもの健やかな育ちと学びを支えることができる確実な指導力を持つ専門職の養成を目指す。
教育実習・保育実習の学外実習科目を配置し、教育現場、福祉現場等において、必要な責任感や使命感を学び、適切に思考し判断することのできる力量の育成を目指す。
 - 他コース科目… 分野を超えた科目を配置し、履修可能とすることで、学生の視野・興味・関心を広げ、社会をより豊かに生きるために必要な知識の獲得を目指す。

上記教育課程を通じて、教育者・保育者等の専門的職業人がもつべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、豊かな人間性を育む。

各科目の学習成果は到達目標・評価基準に照らし合わせて評価する。